

「府立高校の在り方ビジョン(仮称)検討会議」を設置

今日の府立高校を取り巻く状況や社会の劇的な変化、国の高校教育改革の動向等を踏まえ、魅力ある学校づくりに向けた今後の府立高校の在り方についての検討を進めるため、検討会議を設置し、第1回会議を5月7日に開催しますのでお知らせします。

■委員（10名）

敬称略・50音順

氏名	役職等
青山 恵則	株式会社島津製作所執行役員・総務部長
浅野 良一	兵庫教育大学大学院特任教授
岩場 利知	宇治市立東宇治中学校校長
大野 百合	京都府立高等学校PTA連合会顧問
奥水 孝志	舞鶴市教育委員会教育長
杉岡 秀紀	福知山公立大学准教授
出藏 裕子	京都府PTA協議会会計
古川 知子	神戸親和女子大学副学長
細尾 萌子	立命館大学准教授
細野 吾	京都府立山城高等学校校長

■第1回検討会議

日時：令和3年5月7日（金） 午後3時から

会場：京都産業大学 むすびわざ館 3階 3-A教室

（京都市下京区中堂寺命婦町1-10）

※緊急事態宣言の発令を踏まえた感染拡大防止のため、傍聴の受付は行いません。

なお、会議の概要や配布資料は、府教育委員会のホームページにて公開します。

取材については、事前に下記担当まで御連絡願います。

担当	教育庁指導部高校改革推進室高校改革係
電話	075-414-5153

府立高校の在り方ビジョン(仮称)検討会議の主な論点

～令和時代に対応した京都府の高校教育の在り方について～

1 趣旨

今日の京都府立高校を取り巻く状況や社会の劇的な変化等に対応するとともに、国の高校教育改革の動向等を踏まえ、魅力ある学校づくりを目指すため、府立高校の在り方ビジョン(仮称)検討会議を設置し、検討を行う。

2 主な論点

論点① 府立高校としての存在意義・果たすべき社会的役割について

高校教育の目的と人材育成の視点を持ちつつ、中長期的な社会像・地域像を見据えて、各学校の存在意義や各学校に期待されている社会的役割、目指すべき学校像を明確化

論点② 地域の実情等を踏まえた府立高校の在り方、特色化・魅力化について

少子化がさらに進み、中学校卒業予定者数が減少傾向にある中での、府民や地域の期待に応える新しい時代に対応した魅力ある府立高校づくり

高等学校教育の普通科改革に対応した本府の普通科の在り方、地域の産業界を支える視点を持った専門学科の在り方

将来の地域を支える人材を育てるキャリア教育の推進、府内各地域の状況に応じた高等学校教育の在り方

論点③ 時代の変化や生徒のニーズに応じた定時制・通信制の在り方について

就労している生徒が減少し、中学校時代に不登校経験をした生徒、特別な支援や配慮を要する生徒などの多様な入学動機や学習歴等をもつ生徒が増加しているといった時代の変化に対応し、個に応じた学びが可能な柔軟な教育システムをもつ府立高校の在り方

今後の協議事項と開催スケジュール(予定)

協議テーマ

「令和時代に対応した京都府の高等学校教育の在り方」

<論点① 府立高校としての存在意義・果たすべき社会的役割について>

6月・
7月

協議① 府立高校のスクールミッション(各高校の存在意義や社会的役割)の基本となる考え方

(第2回)
(第3回)

【検討の主な観点】

- 府立高校(公立)として求められる役割
- 府立高校ならではの強み・ブランド力
- Society5.0時代を見据えた新しい学びの実現
- 探究的な学びを通して地域への誇りや愛着を育む
- 地域に根ざし、幅広い分野で活躍できる人材育成
- 教員の資質能力の向上

<論点② 地域の実情等を踏まえた府立高校の在り方、特色化・魅力化について>

7月・
8月

協議② 少子化の進展と地方創生における高等学校の在り方

(第3回)
(第4回)

【検討の主な観点】

- 地方創生の核としての役割
- 地域の課題解決に取り組む教育活動
- 地域社会(地元自治体、大学等、企業等)との協働による高等学校教育
- 普通科の設置割合の高さ、大学進学率の高さ
- 国の普通科改革に対応した普通科の在り方

9月

(第5回)

**協議③ 地域の産業界を支える視点での専門学科の在り方
将来の地域を支える人材を育てるキャリア教育**

【検討の主な観点】

- 職業教育の果たす役割
- 職業系専門学科の設置割合、高卒者の就職状況
- 時代や社会の変化に対応できる質の高い専門教育
- これからの産業経済や地域社会を支える人材育成
(即戦力としての人材育成・将来のスペシャリスト育成)

9月・
10月

(第5回)

(第6回)

**協議④ 高等教育機関との高度な連携による展開・グローバル人材の
育成**

【検討の主な観点】

- 高校と大学等との接続を柔軟に捉えた教育上の連携強化
- 大学や大学校等における学びのアプローチとなる教育の推進
- 高校生の留学率日本一の実績
- 豊かな国際感覚、外国語を用いたコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成

<論点③ 時代の変化や生徒のニーズに応じた定時制・通信制の在り方について>

10月

(第6回)

協議⑤ 個に応じた学びのための柔軟な教育システム

【検討の主な観点】

- 生徒の多様なニーズへの柔軟できめ細かな対応
- 従来の定時制課程及び通信制課程という枠組みにとらわれない
学び場
- ICT機器を活用した教育方法
- 中途退学等の経験のある生徒へ学習機会の場を提供

11月

(第7回)

1月

(第8回)

2月

(第9回)

中間案について協議

パブリックコメントを踏まえた協議

最終案について協議

(別途、テーマに応じた学校視察を実施)